

名古屋・ 愛知・ 東海の 防災と まちづくり

東海地方では、今後高い確率で発生すると予測されている東海地震・東南海地震・南海地震の3地震が連動して発生した場合に備えた防災・減災対策の検討が進められています。その中で、都市計画・まちづくりの分野では、災害に強い都市・まちの形成や復興準備（事前復興）の具体的な取り組みが早急に求められています。

本シンポジウムでは、東日本大震災後の住まいの復興と土地利用の再編を含む都市の復興の考え方を学んだ上で、震災の発生を見据えた名古屋・愛知・東海の都市計画・まちづくりのこれからについて考えます。

2012.9.14 **金**

13:00 開場 | 13:30 開演 | 17:00 終演

名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂

定員 1,200 名 | 予約不要 | 参加無料

関連情報

一般社団法人 日本建築学会 住まい・まちづくり支援建築会議 住まいづくり市民セミナー@東海

「巨大地震の Before - After ～その日に備えたイメージトレーニング～」

東海地方で巨大地震が起きた際、我々の「住まい」を巡ってどんなことが起きるのかを5名の専門家の講演をもとに考えます。そして、震災の「Before（普段の暮らし）」で何を備え、「After（震災後の暮らし）」に向けて何を備えるべきかを、ともに議論し、イメージトレーニングを始めるきっかけづくりを目指します。

日時：2012年9月15日 **日** 13:30～17:00 会場：名古屋大学 ES 総合館 1階 ES ホール 定員 200 名 | 予約不要 | 参加無料

開会挨拶： **小堀 徹** (大会実行委員会事業部会長
/日建設計名古屋代表)

講演者・パネリスト：



大月 敏雄 (東京大学大学院工学系研究科
建築学専攻准教授)
住宅と居住から復興を考える、被災地から



加藤 孝明 (東京大学生産技術研究所
都市基盤安全工学国際研究センター准教授)
土地利用と都市復興を考える、被災地から



栗田 暢之 (NPO 法人レスキューストックヤード代表)
被災地でのボランティア活動を通して考える
減災まちづくり



村山 顕人 (名古屋大学大学院環境学研究科
都市環境学専攻准教授)
名古屋の都市形成史と震災を見据えた
今後の都市計画・まちづくり



星野 広美 (愛知県建設部技監)
行政から見た名古屋・愛知の過去と将来

コーディネーター / 総括：



福和 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター長・教授)
東日本大震災から学び
南海トラフ巨大地震に備える

日本建築学会大会 [東海] 期間中 (9.12-14) 開催：

**市民・学会のコラボレーション：「まちづくり広場」
～地域、市民、行政そして専門家市民が織り成す
活動と建築・都市～**

まちづくりにおいてユニークな活動を展開している人たちとともに、市民、行政、専門家の協働によるまちづくりについて考えます。「まちづくり広場」では、東海地域の建築・都市に関わる活動事例のパネル展示と、資料配布を行い、出展者を中心とした解説、意見交換を行います。

会場：名古屋大学 環境総合館 1階玄関ホール・レクチャーホール